

平成21年度 府民文化部 部局長マニフェスト

私の思い 府民文化部長 福田 昌弘

今回の組織改正で新設された府民文化部。その一番の肝はやはり「府民視点」ということです。

大阪府の組織たるもの、どこでも府民の視点に立つべきなのですが、とりわけ府民文化部はそのリード役として、「自分が一府民ならどう考えるのか」、「自分の家族、ご近所の人たちはどう考えるか」、そこをベースに施策をすすめていく使命を受けた組織だと思います。



私は府民文化部を役所らしくない部にしたいと思っています。これは言うは易く、行うは難し。私自身も公務員生活で染み付いた感覚はなかなか捨てきれないところがあります。まずは自らが意識改革をし、職員とこの意識を共有し、現場の声やマーケティング・リサーチで意識のズレを点検し、府民視点の施策を展開できる新しい部をつくりあげていきたいと思っています。部のコンセプトは、『府民の目線 府民が起点 めざせ府民満足度No1!』です。

府民の皆様と喜びや感動を共有し、少しでも「大阪はよくなった。元気になった。笑顔が増えた」という評価をいただけるように、特に以下の重点課題については、基本方向と目標を示し、その達成を府民の皆様にお約束します。

重点課題

**1. 大阪のまちの魅力を創り育て、発信 (部局横断的課題)
～府民に「明るく」「楽しく」「わくわく」を約束します～**

「大阪のまち全体をミュージアム」に。大阪ミュージアム構想を推進し、地域の魅力を高め、内外に発信していきます。

とりわけ今年は、府民の方々に協力をお願いし、世界に誇れる御堂筋イルミネーションを成功させ、皆様に感動と元気を与えていきたいと思っています。

そのほか、「水都大阪 2009」や「御堂筋 kappo」、大規模スポーツイベントの開催などを通じて、大阪に恋してもらえるように頑張ります。

**2. 大阪の文化振興に関するビジョンの策定
～大阪らしい文化のあり方を示します～**

文化行政における府の役割を整理し、府民の自主的な文化活動が活発に行われるよう、大阪の文化振興の基本的なあり方を示すビジョンを策定します。

3 . 大阪の高校生等の夢をはぐくむ教育の推進 ～ 高校生や専修学校の生徒が、自分の力で未来を切り開くことができる教育環境を創ります～

現在の経済環境や雇用不安の下で、大阪の高校生や専修学校の生徒が、家庭の経済的事情によって目標を見失うことなく、未来に向かって夢を抱き、多様な進路の中から自分にとって最適の学びができる教育環境を創ります。

とりわけ、失業等により家計が急変した低所得世帯の私学の生徒への修学支援や、教育委員会と連携して、公私の切磋琢磨による教育の質の向上に取り組みます。

4 . 府立大学のあり方の提示 ～ 府民をはじめ大阪のための府立大学に～

税金を投入するのに相応しい大学をめざし、府立大学の具体的な改革の方向性を示します。

5 . 戦略的広報と究極の情報公開、広聴の一体的な推進 ～ 府民と府庁の垣根をなくします～

一層の情報公開と、縦割りでない府民視点に立ったわかりやすい情報の発信に取り組み、府政の見える化を実現します。また、府民の声をしっかりと把握し、府政に活かしていける仕組みづくりをすすめます。

6 . 大阪の地域力の再生 (部局横断的課題) ～ 小学校と連携した地域の力を育てます～

行政の縦割りを克服し、運動場の芝生化や安全見守り、清掃、あいさつ運動など、小学校を中心とした地域活動の活性化を通じた地域の力を育てます。

2【重点課題：大阪の文化振興に関するビジョンの策定】 ～大阪らしい文化のあり方を示します～

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p align="center">【 戦略課題の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人が集い、文化が花開く大阪」の実現をめざし、文化行政における府の役割を整理します。 ・文化イベントなどの様々な催しが各地で開催され、府民の自主的な文化活動が活発に行われるよう、大阪の文化振興の基本的なあり方を示すビジョンを策定します。 	<p align="center">【 アウトカムの数値目標 】</p> <p>「人が集い、文化が花開く大阪」になったと思う府民の割合 めざそう値 H19 32.1% H22 50%</p> <p>過去1年間に府内で芸術作品を見に行ったことのある府民の割合 めざそう値 H19 44.5% H22 55%</p> <p>センチュリー交響楽団を知っている府民の割合<アンケート></p>
<p align="center">【 施策推進上の目標 】</p> <p>大阪の文化振興に関するビジョンの策定 (H22.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪らしい文化のあり方を提示します ・文化振興における府の役割はどうあるべきかを提示します ・文化を通じた次世代育成のあり方を提示します <p>センチュリー交響楽団のあり方ビジョンの策定 (H21.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング・リサーチなどを通じて現在の楽団に対する評価と課題の抽出を行います ・それに基づいて今後どのような姿が望ましいのかを検討し、府民に納得していただける楽団のあり方とそれに向けた方策を提示します <p>ワッハ上方のあり方提示 (H21.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のワッハ上方に対する評価と課題の抽出を行います ・大阪府として果たすべき役割を明らかにします ・具体的な移転先でのあり方を検討し、最終的にめざす方向を提示します 	<p align="center">【 アウトプットの数値目標 】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>次年度以降、新たなビジョンに基づく施策展開を踏まえ、業績目標を設定</p> </div>

3 【重点課題：大阪の高校生等の夢をはぐくむ教育の推進】 ～ 高校生や専修学校の生徒が、自分の力で未来を切り開くことができる教育環境を創ります～

遂行目標（プロセス）	業績目標（結果）
<p align="center">【 戦略課題の目標】</p> <p>1．高校生や専修学校の生徒が、経済的理由により夢をあきらめない修学環境づくりに取り組みます。</p> <p>2．公私の切磋琢磨による高校教育の質の向上を図ります。</p> <p>3．高校生や専修学校の生徒が、多様な進路の中から自分だけの夢をつかむ職業教育を充実します。</p>	<p align="center">【 アトムの数値目標】</p> <p>企画室や教育委員会と調整の上、目標設定</p> <p>夢を持っている高校生の割合<アンケート> 〔参考：H19 65%〕</p> <p>低所得世帯の高校選択において授業料等が影響する割合<アンケート> 〔参考：H19 74%〕</p> <p>進学した高等学校（公私）の教育に満足している保護者・生徒の割合<アンケート> 〔参考：H19 保護者 56%・生徒 57%〕</p> <p>卒業時に進路未定の高校生の割合<アンケート> 〔参考：H19 9.7%〕</p>
<p align="center">【 施策推進上の目標】</p> <p>(1) 経済的理由で夢をあきらめない修学環境 家計急変等により修学困難となる私立高校生に対する修学支援策 （ 国の緊急経済対策を踏まえ検討） 保護者負担の公私間格差の是正 （ 保護者負担の水準を含む公私の高校教育のあり方を検討し、夏頃に一定の姿を提示） 大阪府育英会奨学金の「滞納ゼロ作戦」による貸付資金の確保</p> <p>(2) 公私の切磋琢磨による教育の質の向上 「教育日本一」に相応しい公私の教育力の評価指標の設定 公私が共通の土俵（公費投入等）の下で教育の質の向上を図る適切な競争環境づくり （ 公私の高校教育のあり方について検討し、夏頃に一定の姿を提示）</p> <p>(3) 多様な進路から夢をつかむ職業教育の充実 高校生に職業適性診断や職業人との交流機会等を提供するモデル事業の実施（「16歳のハローワーク」モデル事業） 専修学校による大阪発「産学接続コース」のガイドラインづくりと普及</p>	<p align="center">【 アトムの数値目標】</p> <p>家計急変等により修学困難となる私立高校生への修学支援の対象を拡大 （ 国の緊急経済対策を踏まえ検討） 〔参考：H20 失業等による私学授業料減免対象者 134人〕</p> <p>（ 保護者負担の公私間格差の是正 （ 公私の高校教育のあり方を踏まえ検討）</p> <p>平成 23 年度末において予想される奨学金滞納額（約 68 億円と想定）を 8.5 億円減少 〔参考：H20 滞納額 50 億円（ H19(44 億)より 6 億増）〕</p> <p>（ 大学進学率、スポーツ等の全国大会優勝などの公私の教育力の評価指標に対する目標値の設定 （ 公私の高校教育のあり方を踏まえ検討）</p> <p>21 年度のモデル事業への参加高校数 公私高校 10 校（生徒数：約 2,600 人）</p> <p>専修学校に「産学接続コース」創設 21 年度中に 20 コース</p>

4 【重点課題：府立大学のあり方の提示】 ～ 府民をはじめ大阪のための府立大学に～

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p align="center">【 戦略課題の目標】</p> <p>税金を投入するのに相応しい大学を目指し、府立大学の具体的な改革の方向性を示します。</p>	<p align="center">【 アウトパの数値目標】</p> <p>府民や企業から高い評価を受ける大学</p> <p>府立大学が魅力的な存在であり、都市格の向上につながっていると実感する府民の割合<アンケート></p> <p>大阪産業界に貢献できる有為な人材を供給していると実感する府民・企業の割合<アンケート></p> <p>高い研究機能を有するなど、府立大学が地域に貢献（特に産業振興への貢献）できる大学となっていると実感する府民・企業の割合<アンケート></p>
<p align="center">【 施策推進上の目標】</p> <p>府立大学のあり方について、人材育成や産業振興への貢献、都市魅力の向上といった観点から、府民や企業の評価を踏まえた上で検証を行い、具体的な方向性を提示します。</p> <p>府立大学の評価について、府民や在阪企業等へのアンケートを実施(5月末目途) 素案に基づき議論の上、一定の基本方向を提示(6月目途) 関係諸機関との調整 具体的な方向を提示(年度内)</p>	<p align="center">【 アウトプットの数値目標】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>施策の具体的な方向に応じ、次年度以降、業績目標を設定</p> </div>

5【重点課題：戦略的広報と究極の情報公開、広聴の一体的な推進】 ～府民と府庁の垣根をなくします～

遂行目標 (プロセス)	業績目標 (結果)
<p>【 戦略課題の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広く浅く」の広報からターゲットに応じた戦略的広報へ転換し、府民視点に立った統一感のある分かりやすい情報発信を実現します。 ・「究極の情報公開」による府政の透明性向上とガバナンスを強化します。 ・府民の声をしっかりと府政に活かせるシステムを構築します。 	<p>【 アウトカムの数値目標】</p> <p>府政情報発信に対する府民の満足 <アンケート> (7 0 %)</p> <p>府政の事業に対する府民の興味関心度 <アンケート> (7 0 %)</p> <p>施策の意思形成プロセスが分かると感じる府民の割合<アンケート> (7 0 %)</p> <p>お問合せセンター・情報プラザの窓口対応に対する満足度<アンケート> (8 0 %)</p>
<p>【 施策推進上の目標】</p> <p>HP (8 月)、府政だより (1 1 月) のリニューアルの実施、メルマガ登録者の拡大キャンペーンの実施 (8 ~ 1 2 月)。</p> <p>新しい広報媒体の開発、外部とのネットワークづくり、スタッフのスキルアップなど「広報の武器」の蓄積。</p> <p>各種施策の意思形成プロセスを時系列・分かりやすい形で HP 公表 (H 2 2 . 1 月 試行)。</p> <p>お問合せセンターの府民に満足のいく対応、情報プラザのサービス内容の充実。</p> <p>府民の声システムを全職場で運用し (6 月 実施)、事務事業の改善に反映。</p>	<p>【 アウトプットの数値目標】</p> <p>府政だよりの閲読率 (7 5 ~ 8 0 %)</p> <p>大阪府 HP トップページアクセス件数 (5 2 ~ 6 0 万件 / 月)</p> <p>メルマガ登録者拡大 (1 . 5 ~ 3 万人、2 2 年度末 5 万人、2 3 年度末 1 0 万人)</p> <p>施策のプロセス公表を試行実施した課の数 (0 ~ 3 課)</p> <p>お問合せセンターの電話のワンストップ回答率 (6 5 ~ 8 0 %)</p> <p>府民の声を業務改善や事業立案の検討に役立てた数 (年間 ? ~ 3 0 件)</p>